

平成 26 年度 第 1 回用語委員会議事録

開催日時：平成 26 年 4 月 17 日 午後 0 時から午後 0 時 45 分

場所：京都国際会議場 555

出席者：委員 小澤浩司、笠井祐一、竹下克志、竹林庸雄、田中信弘、大鳥精司
アドバイザー 鷲見正敏 前理事 加藤真介

欠席者：委員 松本守雄、種市 洋、矢吹省治、担当理事 小森博達 （敬称略）

陪席者：南江堂（杉山孝男、枳穀智哉）

1. 経緯の説明

加藤から改訂第 5 版編集に至る経緯が以下のごとく説明された。

- ◇ これまで 5 年ごとに改訂されてきた
- ◇ 日本医学会加盟学会として用語集整備の継続が必要である
- ◇ 日本脊髄外科学会と共同の専門医制度で専門医試験、Q&A 集を作成する上で、用語に関する検討は必要である。
- ◇ 一般社団法人の規定上、社員である評議員には冊子の無償提供はできるが、一般会員にはできない。
- ◇ 以上の状況を鑑みて、理事会で用語事典の改訂を行い、冊子として出版することが決定された。さらに、一般会員に web 上で無償提供し、そこでは検索機能を持たせることが望ましい
- ◇ 以上の条件で出版社を募った結果、南江堂に依頼することとなった。

2. 検討事項

検討を行った項目および結果は以下の如くである。

- ◇ 仕様について
従来の B6 版とするか、さらに大きなものにするかについて議論し、研修過程の医師の持ち運びを考えて、B6 版を維持することとした。
- ◇ 内容
 - ✓ 図は現在のような線画のままとする。
 - ✓ 追加すべき用語については、委員が分担して検討するとともに、評議員にも意見を募る。
 - ✓ 以前からの用語についても参考文献を追加するなど内容を充実する。
 - ✓ これらの作業によるページ数のある程度の増加は許容する。

3. 今後の予定

- ◇ 平成 26 年 5 月の日整会総会の時に次回委員会を開催する。
- ◇ 分担を決めて、追加用語、改訂用語の洗い出しを行い、次回委員会で担当を決定する。また、分担分野以外にも委員は各自の得意分野を中心に案を提出する。また、項目建についても見直しの必要性の有無についても各自検討する。
- ◇ 名誉会員・評議員にも、追加・改訂用語の検討を依頼する。
- ◇ 日本脳神経外科学会用語集に含まれていて、本学会用語集に含まれていない用語の洗い出しは笠井委員が担当する。

4. その他

- ◇ 南江堂から、出版時期と web 上での無料公開時期を空けてほしいとの希望が出され、理事会でご検討いただくこととした。

（文責 加藤真介）